



福祉×喜び

間近でお子さんの
成長を感じられる
喜び



異業種×福祉

家族の介護が
きっかけで介護職へ

新年度が始まり、この春から福祉の現場で働き始める方も多いのではないのでしょうか。

福祉は、人が人を支える、やりがいある活動、魅力ある仕事です。

しかし、少子高齢化と生産年齢人口の減少が進み、様々な業種で担い手不足が挙げられている中で、福祉、介護職も担い手不足が深刻となっています。

市内には、子どもから高齢者まで福祉に関する様々な事業所があり、活躍されている方々が大勢います。

一人でも多くの方が福祉現場に関心を寄せ、興味を持ってくださる方が増えて欲しい。そんな思いから、今号は福祉現場で働くお二人に、仕事への思いやこれからの目標などをお聞きしました。



常に謙虚な支援を 心掛けたい



なかむら ゆめの
中村 夢乃 さん

(児童発達支援事業所支援員)

塩尻市内の児童発達支援事業所で支援員として働く中村夢乃さん。

——保育士を目指したきっかけは何ですか？

幼いころから親戚の年下の子どもたちの面倒をみたり、保育士として働く母に憧れていたたり、自然と保育士を目指すようになっていました。

高校卒業後、保育を学ぶため短期大学に進学し、保育園での実習を重ねました。実習中、個別に支援が必要なお子さんの保育を担当する期間があつて、その中で子どもとの関係が築けないことや、支援方法が短期間ではわからないものどかしさを感じました。実習を重ねていくうちに就職先を保育園ではなく、個別に支援を必要とするお子さんの支援を専門とする場で子どもに関わりたいと思うようにな

りました。現在は、児童発達支援事業所で支援員をしています。

——児童発達支援事業所はどんなところですか？

お子さんの行動に親御さんが少し気になつたり、保健師さん等からすすめを受けた六歳までのお子さんが通つていきます。就学に向けて日常生活の自立支援や活動への集中等がより身に付くよう、専門的な支援を行っています。

現在所属している事業所は、午前中は発達支援事業所として一日一クラス五名のお子さんが通所し、午後は放課後デイサービスの事業所として小学校一年生から六年生までのお子さんが利用しています。

——お子さんとの関わりで中村さんが大切にしていることはどんなことですか？

子どもたちは、とにかくかわいいです。でもお子さんのこれから考えたときに、かわいいという感情だけで支援することで成長を妨げてしまうことがあります。そのことを念頭におき、感情的にならない支援を心がけています。

また支援中の言葉かけや自分自身の行動が、子どものためになつていたのか迷い、悩むことがあります。迷いや悩みは、できるだけ早く職員に相談して解決することを大切にしています。常に『謙虚』にお子さんに関われるように心がけ

ています。

——ぜひこの仕事の魅力は？

間近でお子さんの成長を感じられることです。

お子さんの支援計画を立てるにあつて、短期目標を細かく決めているので、成長を感じやすく、今まで苦手がちたことができるようになったときは、自分のことのように嬉しいですし、喜びでもあります。

——中村さんの目標・これからの夢はなんですか？

『一緒に働く先輩職員』のようになりたい。常にお子さんの未来を考えた支援をしていることに尊敬の思いを抱いています。こんなことができるようになってくれたらいいな、こんな子に育ってほしいなど、常にお子さんのことを考えていて、とにかく丁寧に子どもたちと関わることをできる先輩方が目標です。お子さんへの支援に対する姿勢も尊敬していますが、まだ経験の浅い私にも「今の支援どう思った？」などと聞いてくれたり、支援者一人ひとりの感性や思いを大切にしてくれる点も尊敬しています。



利用者・家族の 気持ちに寄り添える 支援員になりたい



デイサービスセンターで介護員として働く竹下正さん。

「介護職へ転職されたとお聞きしましたが以前はどのような仕事をされていましたか。」

以前は、営業事務の仕事をしていました。

「介護職に興味を持ったきっかけを教えてください。」

祖母の介護が必要になったことがきっかけで、介護に興味を持つようになりました。そこから塩尻市社協でヘルパー研修を受講しました。

「実際、介護現場で働いてみてどのような印象をもちましたか。働き始めた当初と現在のことを教えてください。」

最初の配属が訪問入浴でした。ご利用

たけしたただし 竹下正さん

（デイサービスセンター介護員）

者様宅への訪問、機械の操作、浴槽の設置などすべての事が初めてで、新鮮かつとても大変だった記憶があります。訪問の仕事させていただけで、ありきたりな言葉ですが人生においてとても学びになりました。ご利用者様だけでなくご家族様の気持ちをどこまで理解して携われるか、現在も悩みながら業務にあたっています。

以前訪問させていただいた難病にかかれたご利用者様の「僕は自分で不幸だとか大変だと思ったことがありません」とお話を聞いた時には「ハッ」となりました。私が勝手に「病気をされて大変だな」と思っていました。そうではありませんでした。その言葉を聞いて以来、介護に対する心構えが変化しました。自分の思い込み、先入観などは無くして、ご利用者様と対等な立場で接することを心掛けるようになりました。人間には、それぞれの「ものさし」があるので、相手方の「ものさし」に合わせ十分考えた行動を心掛けるようになりました。

現在は、デイサービスで業務にあたっています。訪問とは違うところも多々あり毎日右往左往しています。

「ぜひ介護とは…」

「学び」だと思っています。介護をさせていただいているというよりも、ご利用者様と過ごす中でこれまでの人生で得られた知恵や経験を教えてもらっています。

ご利用者様の一人ひとりの歩まれてきた人生について直接聞くことができることは私にとって貴重な時間であり、学びです。

こうして仕事をしながら学ぶことができることは幸せなことでもあります。

「これからの目標、夢について」

仕事に関しては、毎日悩みながら取り組んでいます。現在はデイサービスに勤務しているのですが、ご利用者様に「一日一笑」していただけるように励んでいます。また、介護職が魅力ある職場であるという事を発信できればと思っています。

これからもご利用者様だけでなく、今まで携わってきた周りの皆様、家族、職場の皆さんに少しでも恩返しができるように努めていきます。



インターンシップに参加しよう！

社会福祉協議会では随時インターンシップの受入れを実施しています。詳細は右記のバーコードリーダーからご覧ください。



～ 社協の会費ご協力のお願い～

社協の会費って？

社協では住民の皆さまと一緒に地域の福祉活動に取り組んでいます。会費を納めていただき会員となることで、福祉に関心を持って、様々な形で地域の福祉活動に参加していただくことを目的に行っています。直接参加が難しい場合でも、会費を納めて会員となつていただくことで地域福祉を支える大きな力となります。



会費はどんなことに使われているの？

- ・ 地区ごとの催し開催や見守り活動など、地区単位での行事や活動
- ・ 市内のボランティアに関するご相談や支援、講座の開催等
- ・ 未就園児やその親御さんが地域で気軽に集える活動
- ・ 通院等の交通手段を支援する、ボランティアによる送迎サービス事業
- ・ 地域の方が主体となり、つながりや、地域の課題解決を目指す活動 など

令和7年度は、6月1日～8月31日まで集めさせていただきます。

(会費は任意となります。無理のない範囲でご協力をお願いします。)

皆さんから寄せられた会費がどのように活用されているのか、活動団体の紹介(一部)をするよ。
誰もが参加できる地域の居場所づくりや、活動を通じて地域に貢献している活動があるんだよ。



この取り組みは、地域福祉活動計画の推進目標4“みんなのつながる場をつくろう”を達成する取り組みだね。

上組 わくわくサロン「けいじゅかい慶壽会」



平成30年に立ち上がった「慶壽会」。

当時区長だった山崎豊さんが、地域で開かれる集いの場に参加する男性が少ないことに気がつき、麻雀なら男性も出てきやすいのではないかと考え、始めました。老人クラブも無くなり、同じ地域に暮らしていても顔を合わせる機会が少なくなっている中で「慶壽会があることで繋がりが強まった。日ごろ声を掛け合うことも増えた。」と話してくださいました。

上組分会内の集会所「上町農業組合研修センター」ではわくわくサロン慶壽会が開かれています。

奇数週の土曜日夜に近所の方が集い、賭けのない、いわゆる「健康麻雀」を楽しみながら親睦を深めます。

麻雀卓は山崎さんの手作り！
リサイクル品の机を再利用しています。



山崎 豊 代表のコメント

社協の補助金を活用できることを職員から教えてもらったことが「始めてみよう」という気持ちを後押ししてくれました。

大門三番町三味線クラブ

大門三番町三味線クラブは、三味線や尺八の演奏を通じて、伝統文化の継承や地域に伝わる民謡等に対する関心を高めるため、平成26年から活動しています。現在は、10名のメンバーで月に3回ほど練習し、市内のデイサービスやウィングロードコンサート、元気づくり広場や敬老会等で演奏しています。



この取り組みは、地域福祉活動計画の推進目標3“みんなのやりたいことを形にしよう”を達成しているね。



山本代表のコメント

故青木^{うづこ}征子先生の想いを受け継いで活動しています。演奏を聞いて地域の皆さんに喜んでいただけたら嬉しいです。

社協からいただいている補助金は、楽器のメンテナンスや歌詞カードの印刷等に活用しています。補助金があることで、継続的に活動を行うことができます。

補助金交付内容変更のお知らせ

塩尻市社会福祉協議会では、地域の皆様からいただいた会費等を財源とし、地域課題の解決や地域の繋がりを目的に行う活動に対し、活動に係る経費を補助する事業を行っております。

今後の継続的な運営のため、令和7年度から補助対象の一部を以下のとおり変更させていただきます。

● 見守りネットワーク事業

改正後	現 行
社協分会で決定した見守り活動を行う要援護世帯 (1) 一人暮らし高齢者及び高齢者のみの世帯のうち見守りの必要な世帯 (2) <u>地域で見守りが必要と考える世帯</u>	社協で決定した見守り活動を行う要援護世帯 (1) 一人暮らし高齢者及び高齢者のみの世帯のうち見守りの必要な世帯 (2) <u>上記に準ずる見守りが必要な世帯</u>

● ふれあい食事サービス事業・元気づくり広場等介護予防事業

改正後	現 行
(1) <u>75歳以上の高齢者で希望する者（年度中に75歳になる者を含む。）</u> (2) <u>地域で見守りが必要と考える高齢者で、希望する者</u>	<u>70歳以上の高齢者で希望する者等（年度中に70歳になる者を含む。）</u>

● 実践型・サロン型・子育てサロン型事業補助金

改正後	現 行
<u>事業に要する次に掲げる経費</u> <u>交通費・燃料費、郵送料、消耗品費、印刷費、会場使用料、原材料費、食糧費、講師謝礼、備品購入費及び修理費、書籍購入費、その他社協が認めるもの</u>	事業に係る経費



基本
理念

「みんなが安心して、しあわせに暮らせる地域づくり」

～ みんながつながり、支え合う地域づくりの推進 ～

重点目標① 法人経営

- 1 社会福祉法人としての公共性の確保
 - ・経営の透明性と中立性、公正さの確保を図るとともに、わかりやすい広報・啓発活動や積極的な情報公開により、説明責任を果たします。
 - ・役員(理事・監事)及び評議員の任期満了に伴い、事業推進に滞りが生じないよう円滑な選任を実施します。
- 2 人材の確保・育成と組織づくり
 - ・福祉・介護人材不足に対応するため、柔軟で幅広い条件での採用試験など効果的な人材確保に取り組みます。
 - ・職員の心と身体健康管理の充実により、働きやすい職場環境整備を進めます。
- 3 法人の基盤強化
 - ・変化の激しい時代環境の中においても、責任を持って地域に継続して貢献していくために、理念・目標を明確にした新たな中期経営計画を策定し持続可能な組織経営を戦略的に進めます。

重点目標② 地域福祉の推進

- 1 住民とつくる福祉で支え合いのまちづくり推進
 - ・地域住民の複合・複雑化した支援ニーズに対する包括的な支援体制を整備するために、総合相談マネージャー及び3圏域に配置する地域福祉推進員が、ふれあいセンターと連携して、市及び関係機関とともに重層的支援(全世代対応型支援)に取り組みます。
- 2 生活支援・権利擁護
 - ・既存事業では対応が難しいニーズがある人、日常生活に困難を抱える人を多機関で協働・連携して、早期に発見し、地域での自立・定着まで切れ目ない支援をします。
- 3 ボランティア活動振興
 - ・支部・分会、ボランティア等と連携した地域住民への福祉教育、教育委員会等と連携した学生(生徒)への福祉教育やキャリア教育の取り組みを通して、共に生きる力を育み、地域福祉の人材を育成していきます。

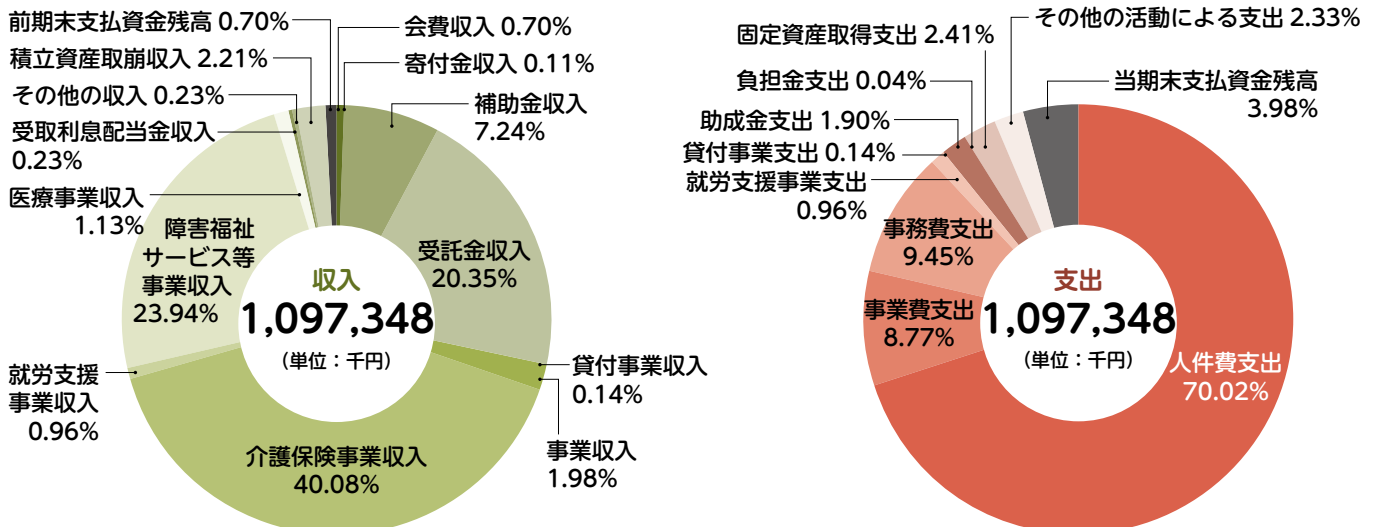
重点目標③ 介護保険・障害福祉サービス事業

- 1 要介護・要支援者の日常生活支援
 - ・安全・安心な施設運営に努めるとともに、地域に身近な福祉施設として地域課題の発見や地域交流など、地域づくり活動に取り組みます。
 - ・閉館する老人福祉センター施設等の今後の活用方法を検討します。また、2040年を見据えた介護サービス事業の方向性の検討を進めます。
- 2 障害者の自立支援・日常生活支援
 - ・障がい者が地域で自立した生活を送ることができるよう、一人ひとりの特性に合わせた日常生活を支援します。また、心身の発達や行動面などに心配のある子どもたちを成長に合わせて支援します。

重点目標④ 指定管理等

- 1 指定管理(ふれあいセンター)
 - ・圏域における地域福祉の拠点施設として、総合相談マネージャー及び地域福祉推進員等と連携し、属性・世代や内容を問わず広く相談を受け止めることができるよう総合相談支援体制を構築し、地域福祉の中核を担い活動を推進、ネットワークづくりを進めます。

令和7年度 予算概要





令和7年度 奉仕員(ボランティア)養成講座のご案内

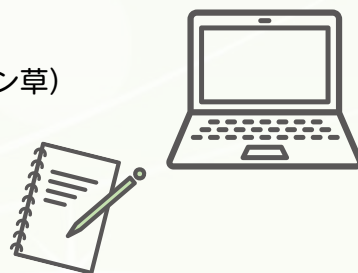
誰もが日常生活の中で安心して生活できる地域共生社会を目指すため、視覚や聴覚に障がいのある方を理解し、コミュニケーションを図ることができる奉仕員(ボランティア)の養成講座を開催します。

要約筆記入門講座

耳で聞こえてくる情報を、手書きまたはパソコンで文字にして聞こえない方に伝えてみましょう。

- 日時** 【手書きコース】 令和7年6月1日・8日(日) 午前10時～正午
【パソコンコース】 令和7年6月22日・29日(日) 午前10時～正午
- 場所** 塩尻市保健福祉センター 2階 ボランティア支援室
- 講師** 要約筆記入門講座運営委員会 (塩尻要約筆記グループペンペン草)
- 受講料** 400円 **募集定員** 各コース10名
- 申込締切** 【手書きコース】 令和7年5月23日(金)
【パソコンコース】 令和7年6月13日(金)

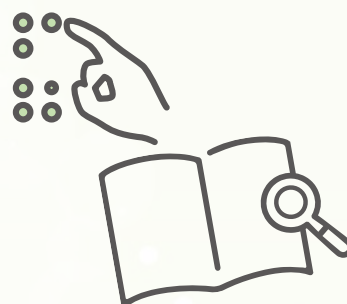
※パソコン操作に慣れている方対象



点字ボランティア養成講座

点字の仕組みなどを学び、目の不自由な方に点字で情報を届けます。

- 日時** 6月4日・18日／7月2日・16日・30日／8月20日・27日
9月10日・24日／10月8日・22日／11月5日
全12回 毎回水曜日 午前10時～正午
- 場所** 塩尻市保健福祉センター 2階 ボランティア支援室
- 講師** 点字カンナの会 **受講料** 650円
- 募集定員** 10名 **申込締切** 令和7年5月28日(水)



音訳奉仕員養成講座

文字情報を声にしてお届けする技術ボランティアを養成します。

- 日時** 令和7年6月6日・13日・20日・27日
7月4日・11日・18日・25日
8月1日・8日 全10回 毎週金曜日 午前10時～正午
パソコンを使用して講座を行います。
- 場所** 塩尻市保健福祉センター 2階 ボランティア支援室
※6月13日のみ ふれあいセンター広丘集会所
- 協力** 塩尻朗読ボランティアグループ
- 教材費** 1,500円 **持ち物** 飲み物・筆記用具
- 募集定員** 10名 **申込締切** 令和7年5月30日(金)



上記3講座の他に手話講座も開催します。詳細は広報しおじり3月号をご確認ください。

申込・問い合わせ…塩尻市社会福祉協議会地域福祉推進センター TEL 0263-52-2795 FAX 0263-53-5058

令和7年度 3～5歳の親子(家族)で体操教室 受講生募集

3～5歳のこどもは、たのしく身体を動かすことで心も体も成長します。とび箱などであそびながら楽しく運動！

【日 時】 令和7年6月8日(日) 10:00～11:30
 【場 所】 ふれあいセンター東部 教養娯楽室1、2
 【対 象】 3～5歳のお子様と保護者の方 市内の方優先
 【講 師】 スポーツトレーナー 百瀬 圭氏
 【募集定員】 10組(25名程度) 先着順
 【参加費】 無料
 【申込期間】 5月1日(木)～定員になり次第終了

令和7年度 背骨コンディショニング教室 受講生募集

背骨の歪みを整え、筋肉を鍛えることで頭痛、肩こり、腰痛、疲れやすいなどの不快症状を改善！一緒に体操しませんか！

【日 時】 令和7年6月6日～7月11日(毎週金曜日) 10:00～11:30 全6回
 【場 所】 ふれあいセンター東部 教養娯楽室1、2
 【対 象】 市内在住で医師から運動制限の指示が出ておらず、ご自身で来られる方
 【講 師】 インストラクター・パーソナルトレーナー 平野 祐子氏
 【募集定員】 15名(新規の方優先) 申込多数の場合抽選
 【参加費】 無料
 【申込期間】 5月1日(木)～5月15日(木) 月曜日休館

令和7年度 第2期 からだづくり健康教室受講生募集

健康運動指導士が運動プログラムをもとに丁寧に指導。トレーニングマシンの操作を覚えて自主的な運動につなげるための教室です。

【日 時】 令和7年7月2日～9月26日(週1回)
 ○Aコース(水曜日)10:00～11:30 全11回
 ○Bコース(金曜日)13:30～15:00 全12回
 【場 所】 ふれあいセンター東部 いきいき健康ホール
 【対 象】 市内在住で医師から運動制限の指示が出ておらず、ご自身で来られる方
 【募集定員】 10名(新規の方優先) 申込多数の場合抽選
 【参加費】 無料
 【申込期間】 6月1日(日)～6月15日(日) 月曜日休館

令和7年度 カラオケDE交流会のご案内

カラオケを通して、楽しく交流しましょう。聞くだけの参加もOKです。毎月開催しておりますので、ぜひご参加ください

【日 時】 4月、5月 第3土曜日 10:00～14:00
 6月～3月 第3日曜日 10:00～14:00
 日時は変更になる場合がございます。ご理解のほどお願いいたします。
 【場 所】 ふれあいセンター東部 教養娯楽室1、2
 【対 象】 どなたでもご参加いただけます。
 【参加方法】 予約不要のため、当日、好きな時間にご参加いただければと思います。

◎申込方法、持ち物等については直接センターにお問い合わせください。

申込・問い合わせ先 ふれあいセンター東部 TEL:0263-87-2931 FAX:0263-87-2932

すみれ・そよ風まつりを開催します！

皆さんで楽しいひと時をすごしませんか？ご近所お誘い合わせてお越しください！

【日 時】 5月17日(土) 10:00～12:00 【場 所】 すみれの丘、そよ風の家
 【内 容】 丘中学校吹奏楽部演奏、福祉施設の販売等

※詳細については決まり次第ホームページでお知らせします。



問い合わせ先 すみれの丘 TEL:0263-87-4012 FAX:0263-54-6296

めざせ防災マスター

災害に備えて、今自分は何ができるだろう？ 隣近所で声をかけ合って…でも実際どうすればいい？ 座学や体験などを行うことにより、一人ひとりの防災意識の向上を目指します。※10回コースで学んでいただく講座ですが、受けてみたい講座のみの受講も可能です。

【会 場】 ふれあいセンター広丘
 ※8/9(土)のみ、保健福祉センター3階
 【申込締切】 全ての講座を受講される方は、5月18日(日)
 (気になる講座のみ受講の場合は各回の一週間前まで)

5/25(日)10:00～ 導入編 塩尻市の災害や動きを知る
 6/15(日)10:00～ 自助力UP 防災グッズなど
 7/13(日)10:00～ AEDの使い方、応急手当法
 8/ 9(土)10:00～ 災害ボランティアについて学ぶ
 9/27(土)10:00～ 地域のつながりと防災①
 10/19(日)10:00～ 避難所、福祉避難所の役割
 11/ 9(日)10:00～ 避難所立ち上げ、運営訓練
 12/ 7(日)10:00～ 地域のつながりと防災②
 1/25(日)10:00～ 認知症と災害
 2/15(日)10:00～ まとめ

申込・問い合わせ先 ふれあいセンター広丘 TEL:0263-51-5070